

モダンタイムス

2010年1月号

新年明けましておめでとうございます

2010年 寅年の始まりです。今年はどんな年になるのか、先の読めない今日この頃ですが、みなさんはどんな新年を迎えましたか？モダンスキークラブも今年で創立49年目に入ろうとしております。何人かの発起人から始まり、約半世紀の歴史が創られました。

スキー界を取り巻く現状は、けっして良いとは言えない状況で、クラブ員もめっきり少なくなり、50~60人いた会員も現在半数近くに減りました。しかし、今のメンバーはスキースポーツに対し、情熱やパワーを持っております。

このスポーツは、手間、暇、お金がかかるスポーツと世間では言われますが、その分の見返りは、かけた分の数倍、いや数十倍以上だと感じております。人は1年毎に年を重ねます。今年も心身共に健康であるため冬にしかできないスポーツを楽しみ、良い年にいたしましょう。2年後には創立50年を迎えます。皆で50周年記念式をいたしましょう。

☆2010年正月スキースクール報告☆

参加者：刈込 石井 谷村 津村 中村 高橋 栗本 松本 安藤 山田 山崎(雅)

今年の正月行事の人数は、昨年並みの(13人)参加で行事が出来ればと考えておりました。行事責任者を谷村氏に役員会で定め、メール等によるきめ細かな情報交換をしながら準備を致しましたが、10名の申込みがあり、飛び入りで山崎雅義氏が1日合流し、計11名のスタートになりました。

ここ数年の1月は10数名の人数ですが、少人数はまとまりがあり、充実した内容のスキー行が出来、それなりに良いのではないかと考えるようになりました。

12月30日 乗用車2台で午後11時に小岩、葛西をそれぞれ出発。12時に三芳で合流し、思ったより混雑していない関越、信越道を走り、早朝3時半、野沢に到着しました。天気も良く、星空の下、雪もまったく無い道路状況でした。予定では5時頃到着の思わくでしたが、余りの速さに宿へも入れず、民宿宮川の駐車場へ車を付け、そこで主が起きるまで仮眠といたしました。5時半頃目が覚めたところ、ちょうど民宿の主人が起き、部屋へ入室。先着の谷村氏の寝顔を見ながら、朝食まで再度の睡眠に入りました。

9時30分 玄関前に集合し青空の下、グレンデへ向け温泉街を出発です。グレンデへは連絡リフトに乗り10分で到着、中高年が多いことから念入りな準備体操をして、体が温まり、額から汗がにじむ



刈込車・津村車

ほどになった頃、雲行きが変化し、雪です。最初は気にならない程度でしたが、時間がたつにつれて風がでてきました。

初日の為、全員で行動をとりましたが、ゴンドラで山頂に着いた頃には前も見えない吹雪です。皆、出発時の天候に合わせての服装でしたので、震えながらの初日滑走になりました。この天候が、帰りの3日まで、ずっと続くとはだれも思わなかったのは自然だと思います。何と4日間、一度も雪が止むことはありませんでした。

初日は、飛び入りで参加した山崎氏を含め、講師を谷村氏と津村氏が受け持ち、基本的な運動やポジショニング、又、今年の教程改訂に伴う最先端の技術など、もりだくさんで充実した講習会が開かれ、皆、喜んでおりました。それに花を添えたのが、なんととっても豊富な降雪です。私も最近経験したことがないほどの軽い新雪で、最深で膝位までの深さがありました。それでも、よくグレンデで見かける板をはずし探す様な事も無く、皆上級者の自覚で、無難に滑り降りていました。深雪が苦手な「俺は滑れない」と最初は言っていた栗本氏、安藤氏も気後れせず、ほとんど転倒などせず、素晴らしい滑りだったと感じます。特に安藤氏は、久しぶりの滑りだったそうですが、基本に忠実で腰の高い良い滑走姿勢でした。高橋氏もベテランらしい味のある滑りで、皆についてくる様子が伝わりました。中村氏は、私がモダンに初めて参加したとき(25~30年前)とまったく変わらず、両足をぴったりくっつけ、まるで昔のビデオを観ている様な、華麗なシルエットの滑りを披露していました。今年度3度目の準指導員を受検する松本氏は、理論講習が済んでいることから、その内容に忠実に練習をしているようでした。

準指導員資格は取得する事も大変難しく、かなりの練習量が必要だと思います。しかし、資格を取得した後は、それ以上に厳しい現実(自覚、誇り、理論、技術、向上心、他)がまっていると感じます。クラブの資格者は皆、それを知っています。それをふまえて今年度は是非合格し、クラブやスキー界の発展の為に協力をお願い致します。(人生の大先輩に生意気な言葉を申し訳ありません)

私と石井氏、山田氏は、3人でよりいっそうの上達を目指し、ディスカッションをしながら自己研鑽に励みました。全日程を通し、天候は悪かったのですが、3日目の午前、山頂からの広大な景色と、野生のうさぎを観たことが救いだったように思います。

3日目午後、安藤氏が1級に挑戦する検定会を行いました。1人だったので短い時間で終了しましたが、視界の悪く、がんばったと思います。結果は不合格でしたが、次につながる良い滑りだったと思います。

私事ですが、だらしないことに、31日の夕食後、寒気がし、熱を計ったところ38度、ダウンしてしまい、カウントダウンもせず、元日朝まで布団の中でした。しかし朝には熱も下がり、張り切ってグレンデへ向かったのは言うまでもありません。空気のきれいな野沢だったせいかもしれません。

3日目夕刻、中村氏は、30数年前にモダン行事で行ったことのある宿を探しに出かけました。「やまや」という宿だそうですが、今は跡形もなく観光案内所が変わっていたそうです。かすかに昔の面影が残っていたそうです。温泉街も時とともにだいぶ変化したようです。中村氏曰く、モダンと自分の歴史の散歩を良い形でできた喜んで帰ってきました。行事の夜の部ですが、人数も少なく、お酒の量もイマイチのようでした。やはりクラブの名物人N氏がいないのが原因のようです。しょうがなく、私が彼の代わりをしましたがかなりの無理があり、夜の部の上級者にはなれませんでした。

4日間を通し、今回の参加者はスキーというスポーツに対し、とても前向きで情熱を感じ、とてもやりがいのある正月行事でした。担当役員の谷村さん、指導にあたった津村さん、お疲れ様でした。



雪上指導員研修会

2009年12月5~6日 クラブから8名、志賀熊の湯会場に参加致しました。また勉強と初すべりをおかね、松本氏が同行致しました。内容は今年度の教程改訂に伴う新しい考え方(今までの考え方からより発展したもの)です。ナチュラルでシンプルな運動が主体となり、[自然で楽なスキーのすすめ]をコンセプトに、数年前からいわれている、2軸により2本のスキーをそれぞれの役目にそって有効に使い、重力を最大限に利用し、ターン内側に落ちてゆく考えです。間違いやすいのは、昔の抜重による先落としてはまったく違い、常に板にはある程度の加重がなされ、コントロールされた落下です。またフェースコントロールという言葉で、エッジだけでなく面を使うことが特徴だともいいます。

夜、参加者全員でディスカッションが行われ、良い勉強会でした。

2月行事 2月6~7日尾瀬岩鞍スキースクール募集

タイトな日程ですが、参加しやすい内容になっております。群馬県屈指のビックエリア岩鞍で楽しみましょう。宿も役員の顔のきく(栄地屋)です。事務局まで申し込みをお待ちしております。

後記

11月22日 モダン有志数人で、故石井 淳氏の墓参りに行きました。その後、父である宏さんの喜寿のお祝いを理由に浅草で一杯やりました。48年の歴史のなかで先輩たちが築き残してきた財産が沢山あり、継続して守っていかなければいけないことを改めて感じた飲み会でした。 文・刈込 万友

◎モダンホームページを活用して下さい

アドレス <http://modern-ski-id.hp.infoseek.co.jp/>
「モダンスキークラブ」で検索 Yahoo 楽天で

ホームページは谷村剛生さんが管理運営しております。クラブ員の近況、その他何か情報がありましたら是非書き込んでクラブを盛り上げてください。

文：刈込 万友
写真提供：谷村 剛生